



鷹農 PTA 会報

第83号

発行：秋田県立鷹巣農林高等学校PTA
印刷：(有)米内沢中央印刷



2年ぶりの大綱引き大会大盛況！



翠 緑 萬 古

PTA会長 佐藤 将人

♪翠緑萬古伊勢堂の森♪から始まる我が鷹巣農林高等学校の校歌、思い出すのは応援歌練習、2・3年生の応援団の人から気合いをかけられ、「練習してきたか？」と聞かれれば「押忍」と答え、「練習してこねべえ」と聞かれれば「押忍」と答え、また怒られた事や、3年間野球部の練習後、必ず校歌を唱った事が思い出される。

「翠緑萬古」とは草や木々の色はいつまでも変わらないことを意味し、その「伊勢堂の森」に集う若人は、鷹農で得た知識や仲間をいつまでも変らず育んできました。

一世紀を超え、新たな第一歩を踏み出した鷹巣農林高校の校名も残す所1年となり、その最後の年も5ヶ月が過ぎようとしています。そこで計画されたのが、先の6月19日に行われた大綱引き大会。地域の方々を巻き込みながら2年ぶりの復活となりました。

綱引きには各統合予定校からも生徒やPTAが合同チームとして参加してくれて、大会を盛り上げてくれました。

来春の統合へ向けた第一歩の始まりだと思えました。これからも様々な行事を控えています。今後統合予定校と協力出来るところは協力しながら、PTA活動を進めていきたいと思っております。

まずは、10月9日に行われる閉校式「伊勢堂の森を語る会」を迎えるにあたって地域の方々と同窓会やPTAが一体となり、「鷹巣農林ここに在り」と盛り上げて行かなければなりません。そのためにもPTA会員の皆様にご協力をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

充実した時間を



校長 佐藤 英樹

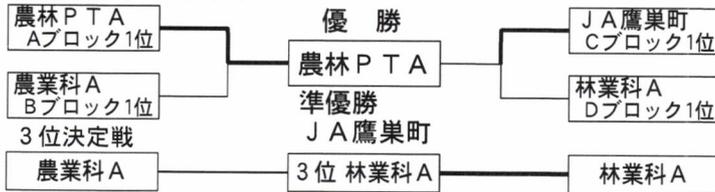
一学期も終わり、来年度の統合まで残り七ヶ月となりました。例年になく雨の日が続く、全国各地の被害状況が放映されていますが、保護者の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

今年度の重点目標は、「伝統と校風をさらに発展させ、目的意識を持ち学習活動等に主体的に取り組む生徒を育成する。」こととあります。具体的には①体験学習や特別活動をより充実させ、特色のある学校づくりを目指す。②基本的な生活習慣を確立させるとともに、生活指導の充実を目指す。③学習習慣を定着させ、目標とする進路の実現を目指す。この三点であり、年度当初の職員会議とPTA総会でもご理解とご協力をお願いしております。しかし、今学期を振り返って見ると、高校生としての基礎・基本が身につけておらず、校則を守れない生徒が見られ、反省すべき学期となりました。二学期は修正すべき点を明確にして指導に力を入れて行きたいと思っております。

しかしながら、生徒たちが輝いた出来事もありました。二学期に開催にこぎつけた大綱引き大会です。「若者の力で地域を活性化したい」との声が生徒からあがり、担当者で会議を重ね検証した結果、運営資金不足という課題が出てきました。それを克服するために出た意見は、実行委員会形式にして地域の皆さんの豊富な経験と知識をお借りすることでした。会議が終わるやいなや、さっそく街に繰り出しお願いに出向きました。予想に反して市民の反応はビックリする程良く「農林高校の願いであれば協力しない訳には行かない」との感激の一言。百年を越す歴史の中で、先人が築いてくれた貴重な財産の恩恵を、この時も受けることができました。多くの市民や保護者の皆さんの応援もあり大盛況、本校PTAチームが見事優勝した。役員の方々は、様々な角度でご支援ご指導をいただき、深く感謝申し上げます。

大綱引き大会結果

●男子決勝トーナメント



●女子リーグ戦

優勝	準優勝	3位
JA鷹巣町	鷹高・米高・合高生徒	農林1年



バブルが崩壊し商店街もシャッターが目立ち始めた頃に、鷹農の生徒が市街を元気にしようとの取り組みは感動を覚えるとともに、OBとして誇らしくもあった。



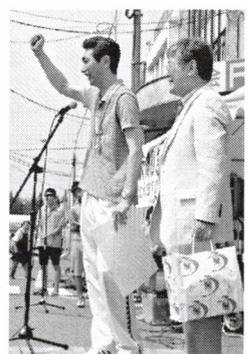
最後になるかもしれない大綱引きが、実行委員や関係者の協力により大成功を収めた事に感謝するとともに、新高校でも地域に根差した行事を実施し、住民が親しむ高校となる事を切に期待します。

2年ぶりに復活した大綱引き大会は、6月19日鷹巣銀座通り商店街で来春統合となる北秋田全ての学校並びに多くの地域の皆様の参加のもと盛大に行われました。結果は、本校PTAがJA鷹巣町との決勝戦2-0で見事優勝し閉幕しました。

復活の大綱引き大会 本校PTA優勝

大綱引きに参加して

PTA副会長 小塚重光
実は私と農林の綱引きは縁が深い。大館能代空港の担当時に実施した開校イベントで使用した綱とマットを市街で綱引きをしたいので貸して欲しいと鷹農から連絡が入り、快諾した記憶がある。



百周年の昨年は開催しなかったが今年復活し、鷹巣農林を、いつも温かく見守ってくれている地域の方へ恩返しの意味も込め、元気を与える事が出来たと思うし、我々PTAもその一部を担う事ができ、うれしく思っている。優勝してしまつたのは少し大人気なかつたかと思うが、鷹農生の実習で鍛えた成果を発揮して欲しかった。

地 区 P T A 開 催

鷹巣農林高校として最後の地区PTAが能代・山本、ニツ井・藤里地区を皮切りに7地区で開催されました。準備に当られた地区長はじめ役員の方々、大変お疲れさまでした。また、ご多忙の中、参加して下さいました保護者の皆様には感謝申し上げます。

各地区より学校側に出されました意見については、今後のよりよい学校運営に生かしていきたいと考えております。また、来年の秋田北鷹高校にも「鷹巣農林高校の良さ」というものを大いに引き継いでいきたいと思っております。

生徒を取り巻く学校、保護者、地域の信頼関係を深めていくためにも今後ともPTAの活動にご理解、ご協力をお願い致します。(担当職員より)

鷹巣南地区PTAを終えて

地区長 岩本 幸夫

昨年の話題になった資格・検定試験の一覧の配布や自動車学校の入学時期について等々学校側でキチンと取り上げられ検討、実行に移して頂いている事に感謝します。

来年度からは北秋田市に唯一の高校ということなので地域と密着し、たとえば学校行事（綱引き、仮装行列、競歩、着付け等）や学校独自の特産品又北秋田市内の各地域の話材の提供出来る空きガレージ利用のアンテナショップ開店とかとにかく市民と学校を繋ぎ、市民が早く、おらほの学校と自慢出来る学校又可愛がられる学校を目指して、新しい歴史を創って貰いたいと思います。

平成22年度 地区PTA開催一覧

地区名	開催日	参加者	
		役員 教員	保護者 (総数)
鷹巣 秋田・鹿角	7月16日(金)	7名	13名 (76)
鷹 巢 南	6月25日(金)	8名	6名 (38)
阿 仁 ・ 森 吉	6月18日(金)	7名	20名 (29)
合 川 上 小 阿 仁	7月2日(金)	7名	6名 (34)
能代・山本 ニツ井・藤里	6月16日(水)	6名	4名 (8)
田 代	6月25日(金)	7名	12名 (32)
大館・比内	7月7日(水)	6名	7名 (21)

平成22年度 P T A 役員名簿

【三役・専門部】

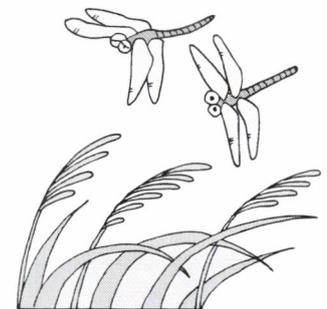
役 職	氏 名	
会 長	佐藤 将人	
副 会 長	小塚 重光	
副 会 長	岩本 美花子	
副 会 長	中嶋 正浩	校長
副 会 長	佐藤 英樹	
監 事	成田 悟	
監 事	浅村 武則	
監 事	丹 啓記	
総務部		
部 長	佐藤 将人	
副 部 長	藤嶋 和則	
副 部 長	大川 金光	
研修部		
部 長	中嶋 正浩	
副 部 長	成田 敏博	
副 部 長	藤嶋 則秋	
生活指導部		
部 長	岩本 美花子	
副 部 長	成田 悟	
副 部 長	浅村 武則	
保健体育部		
部 長	小塚 重光	
副 部 長	齋藤 由紀子	
副 部 長	奈良田 誠	

【学年部】

学 年	氏 名	
3 年 部	藤嶋 和則	部 長
	大川 金光	副 部 長
	藤嶋 則秋	副 部 長
	桜田 善仁	
	長谷川 博行	
	新林 英明	
	近藤 寿男	
	成田 敏博	
	岩本 幸夫	
	奈良田 誠	部 長
2 年 部	岩 渕 美由紀	副 部 長
	高橋 智子	副 部 長
	田村 富子	
	浅村 武則	
	櫻庭 伸哉	
	小林 郷司	部 長
1 年 部	若松 和美	副 部 長
	佐藤 光義	副 部 長
	佐藤 稔	
	畠山 一哉	
	吉田 武弘	

【地区長】

地区名	氏 名
鷹 巢	成田 悟
鷹 巢 南	岩本 幸夫
阿 仁 森 吉	北林 文明
合川上小阿仁	伊藤 伊代一
能代山本	桜田 善仁
田 代	藤嶋 則秋
大館・比内	斎藤 菊章



我が子が鷹農に入学して



A-1 畠山一哉(混平)
 ようこそ我が母校へ
 入学して早五ヶ月が経過し、自分なりの生活リズムを掴んできたように感じます。

実習や部活動等も戸惑いながらも楽しく充実した毎日を送っているように思います。兄と共に伝統のある鷹農へ入ってくれてとても嬉しく思います。また部活では、春高全国第一回大会出場経験のあるバレー部に入部してくれてバレーに携わるものとしても頼もしく思います。

鷹農としては今年が最後になりますが、統合後もこれまでの特徴ある活動を継続してもらいたいものです。これからの3年間、将来の目標をしっかりと見据

えた高校生活を送ってもらいたいと思います。

A-1 若松和美(佑太)

伝統ある鷹農農林高校に入学し今までは全く違った学校生活活ということで、いろいろな心配がありました。毎日元気に学校に行く姿や、遅くまで部活動をして帰ってきた姿を見て頑張っているなど感心しています。

農林ならではの实習や行事も初めて経験する事ばかりでしょうが、意外にも楽しく実習をしているみたいです。田植えや牛にわたり等の事、実習での友達との関わりの様子をいろいろ話してくれました。

これからも目標をしっかりと、夢と希望に向って夢と希望に向っていろんな面で結果がだせるよう充実した高校生活を送ってもらいたいと思います。

B-1 吉田武弘(弘弥)

息子が中2の時、各高校の先生方が中学校へ来て、高校の紹介等をして下さる機会がありました。その時、農林高校の先生のお話しに魅かれ、息子は当高校に志望しました。

その後、当高校に入学することができ早五ヶ月。学校生活に



も慣れ、実習や専門の学科など新鮮な気持ちで取り組むことができているようです。

部活動は野球部に入部し、自宅で家族が顔を合わせる時間はほんのわずかとなりました。そんな中、息子とゆっくり会話ができるのは、通勤(通学)の車中での40分。この時間を大事にし3年間、息子の高校生活を見守っていきたいと思います。

今年度が「鷹農」最後の年となりますが、伝統ある高校に入学できたことを誇りにし、統合校となっても「鷹農」としての精神を忘れず、頑張ってもらいたいと思います。

B-1 小林秀子(峻正)

入学してからすでに、五ヶ月という月日を過ごし、本来であれば高校生らしく心身共にたくましく成長した我が子の事を、誇らしく感じたい所なのですが、どうにも親の思う様にはならないもので、気持ちの面ではまだまだ中学生の延長を過ごしているかと思えてならないのが、正直な所です。が、これからの学校生活や部活動を通して精神的に成長していつてくれるものとの期待したいと思います。今後、統合校になるという新しい経験もするのですが、きっとそれは成長していく上で、とてもよい体験になる事と思います。一日一日を大切に、意義ある充実した高校生活だったと言える3年間を過ごしてほしいものです。



P T A 会 務 報 告

P T A 総 会

4月24日(土)に本校製図室において、35名のPTA会員が出席しPTA総会が行われました。事業報告、会計決算報告、監査報告、事業計画、予算が事務局案どおり承認されました。学校状況説明も含めた質疑応答では、今年度の諸会計について来年度の統合を踏まえ、「繰り越しが出た場合どうなるのか」という質問があり、事務局からは「残高ゼロが目標である。もし出た場合は農業クラブ、同窓会に繰り入れたい」と回答がありました。また「昨年度、運動会の日曜日開催を要望したが今年も平日の開催であるが、どうか」との質問に対しては「市の陸上競技場を借りる上でこの日程になった。統合校では休日に実施したい」との回答がありました。総会後は学年PTA・クラス懇談会が行われました。

県高P連定時総会

開催日 平成22年5月26日(水)
 会 場 秋田キャッスルホテル
 参加者 佐藤会長、小塚副会長、中嶋副会長、成田監事、長谷川前監事、PTA担当 金 全
 全県各高校のPTA役員、担当者が一堂に会して平成22年度定時総会が行われました。高P連表彰では、本校から長崎前PTA副会長、長谷川前監事が受賞されました。
 会議の中では昨年度の報告の他、今年度の事業計画・予算等の説明がなされ、9月10日に能代で行われる県北交流大会や10月下旬に予定されている母親交流会なども含めて承認されました。



また、来年度より秋田北鷹高校に統合されますが、今後の県北交流大会等の企画運営を行う地区協議会について事務局より説明がされました。これまで県北は鹿角・大館・北秋・能代の4地区に分かれ北秋4校が順番に当番校となっていたが、来年からは1校しかなくなる。昨年度より理事会等で話し合いを進

め、他地区との合併等は困難なことから北秋地区は単独でお願いしたいとの説明でした。

東北高P連 盛岡大会に参加して

P T A 監 事 成 田 悟

第59回東北高P連盛岡大会が七月九日岩手県盛岡文化会館で会場に開催され、大会当日は夏本番を思わせるような晴天のもと、午前は各種表彰に続き「歩もうこの道 受け止めようこの気魄」をテーマに多様化する社会の中で、今求められているキャリアについて各県代表校の取り組みについて発表し、シンポジウムがおこなわれました。各校の取組みは地域性や独自性がある



閉校記念事業の開催について

開催期日：平成22年10月9日(土)

【記念事業内容】

- | | |
|--------------|--|
| 1) 百周年記念碑除幕式 | 時間 13:00~13:40
場所 本校見本林 (20名) |
| 2) 閉校式 | 時間 14:00~15:00
場所 本校体育館 (200名) |
| 3) 伊勢堂の森を語る会 | 時間 16:00~18:00
場所 中央公民館 (150名)
会費 男性 3,000円
女性 2,000円 |

※保護者の皆様には、特に「伊勢堂の森を語る会」への参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

閉校記念事業実行委員長 佐藤 将人
 閉校記念事業副実行委員長 小塚 重光 中嶋 正英 浩樹
 岩本 美花子 佐藤

りその中で当校でも参考とすべき内容もいくつかあり、学校・家庭・地域が一体となって学校活動に協力していかねばならないと再認識しました。

伊勢堂の森に百年の歴史を築いた鷹巣農林の名が今年度でなくなることは寂しい限りですが、来年度から北鷹と名前が変わっ

ても伊勢堂の森に培われた魂は引継いでもらいたいと思います。PTAにあっても特色を持った4校が一緒に活動を行うことになりませんが、学校・家庭・地域が一体となって子供たちのために協力し活動に参加する事がキャリア育成に繋がることと思

各部の活躍

各部夏季大会主な戦績

春季県北野球大会

野球部

- 1回戦 対大館国際情報 ×0-11
- 敗者復活1回戦 対十和田 ×8-9

県北総体

陸上部

- 5000mW
- 3位 高橋善志郎(B2)
- 4位 伊藤 佑樹(E3)
- 女子 やり投げ
- 6位 堀部澄恵美(B2)

バレーボール部

- 1回戦 対大館工業 ×0-2
- 敗者復活戦 対十和田 ×1-2

ソフトテニス部

- 男子団体戦予選リーグ 対大館国際情報 ×0-3
- 対鷹巣 ×1-2
- 女子団体戦予選リーグ 対大館桂 ×0-3
- 対大館鳳鳴 ×0-3

男子個人戦ベスト32

- 大城 裕紀(E3)

バスケットボール部

予選リーグ

- 対大館工業 ×85-114
- 対能代商業 ×63-111

サッカー部

- 2回戦 対花輪 ○3-1
- 準決勝 対能代商業×1-4
- 3位決定戦 対大館国際情報 ○2-0

卓球部

- 団体戦予選トーナメント
- 1回戦 対能代 ○3-1
- 2回戦 対大館工業×2-3



卓球ダブルスで優勝した工藤・布田選手

ダブルス

- 1位 工藤 翔也(F3)
- 布田 涼祐(E3)

シングルス

- 2位 工藤 翔也(F3)

山岳部

- Aパーティ 4位

弓道部

- 男子団体 中央・県北対抗戦 1位
- 女子団体 中央・県北対抗戦 2位

全県総体

相撲部

- 団体 2位
- 対平成 ○4-1
- 対金足農 ×1-4
- 対横手 ×2-3

順位決定戦

- 対横手 ○3-0
- 個人2位 森 輝稀(E3)
- 個人 80kg未満級
- 3位 齋藤 健太(E3)
- 個人 80kg-100kg未満級
- 2位 森 輝稀(E3)
- 個人 100kg以上級
- 2位 石岡 翔(B2)

陸上部

- 5000mW
- 7位 伊藤 佑樹(E3)
- 9位 高橋善志郎(B2)

バレーボール部

- 1回戦 对本荘 ×0-2

ソフトテニス部

- 男子団体戦1回戦 対小坂 ×1-2
- 女子団体戦1回戦 対湯沢 ×1-2

バスケットボール部

- 1回戦 対鷹巣 ×52-73

サッカー部

- 1回戦 対男鹿海洋○1-1
- 2回戦 対矢島 ×2-2
- PK5-6

卓球部

- 団体戦1回戦 対大曲農業太田○3-0
- 団体2回戦 対角館 ×1-3
- ダブルス ベスト8
- 工藤 翔也(F3)
- 布田 涼祐(E3)

東北大会出場決定戦敗退

- 東北大会出場決定戦敗退 工藤・布田

山岳部

- 13位

弓道部

- 男子個人戦
- 4位 浅村 晃生(B2)
- 6位 笹代 幸輝(E3)
- 女子個人戦
- 1位 佐藤 未樹(A3)

全国高校野球選手権大会秋田大会

- 1回戦 対秋田中央×3-13

東北高等学校選手権

- 相撲部
- 個人階級別
- 80kg-100kg未満級
- 2位 森 輝稀(E3)

弓道部

- 男子個人
- 5位 笹代 幸輝(E3)

全国高校総体

- 相撲部
- 決勝トーナメント進出者
- 決定1回戦進出 森 輝稀(E3)

弓道部

- 女子個人
- 予選(4射2中)不通過
- 佐藤 未樹(A3)

県民体育大会

- 弓道部
- 近的男子団体 2位
- 遠的男子団体 3位
- 総合男子団体 1位
- 近的女子団体 2位
- 男子個人
- 4位 笹代 幸輝(E3)
- 5位 渡辺裕希也(F3)
- 女子個人
- 2位 佐藤 未樹(A3)

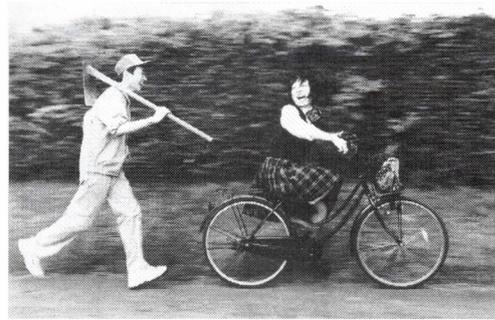
相撲部

- 団体 3位
- 個人
- 優勝 森 輝稀(E3)
- 準優勝 石岡 翔(E2)



秋田県大会での演奏

全国吹奏楽コンクール
 県北地区大会
 高等学校小編成の部 金賞



推奨の吉原さんの作品「農業魂」

秋田県高等学校写真連盟展
 推奨 吉原百合香(A2)
 佳作 武藤蘭之介(A2)

全国吹奏楽コンクール
 秋田県大会
 高等学校小編成の部 銀賞

農業クラブ秋田県連盟大会
 平板測量競技会

2位 Aチーム
 (石川、岩本、梅田、布田)

プロジェクト発表
 (東北大会出場権獲得)

優秀賞 畠山友美子(A3)
 他7名

農業鑑定競技(区分畜産)
 2位 船木 睦月(A2)

インターハイ出場によせて

【相撲部】

鷹巣農林最後の夏

E3 森 美奈子(輝稀)

高校生活の集大成、全県総体にかける思いは並々ならぬ闘志で望んだ結果は、又しても満足できるものではありませんでした。勝たせてあげたいのに、何もできない自分が情けなくて歯痒さでいっぱいでした。

その後も寡黙に【勝ち】にこだわりの真摯に相撲だけに取り組んでいる息子の待ちに待った大舞台、インターハイ。初戦から緊張した表情の息子を見ていて、呼吸が出来ず胸がいっぱいで知

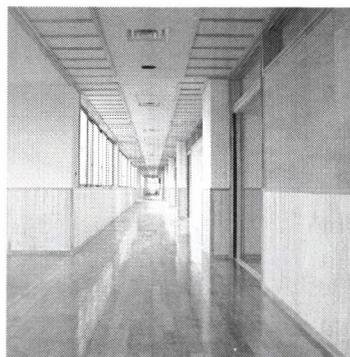
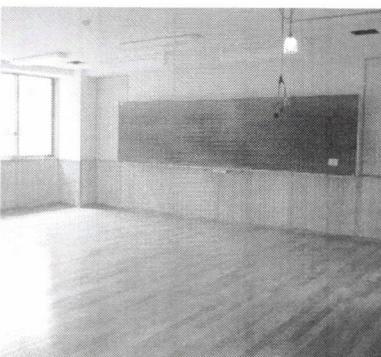
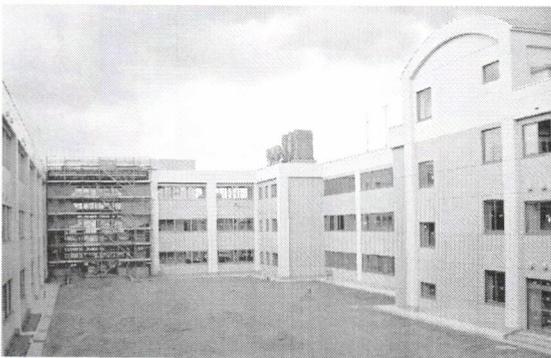
らない内に涙がつつたつてきました。予選三回戦が無事に終わり、去年の壁でもあり悲願でもあった決勝トーナメントをかけた一番、出だしから優勢を保っていたが一瞬のすきをつかれ敗れた。鷹巣農林の名前を全国に刻む事が出来なかつたと悔やむ息子。彼にとつて最後の鷹巣農林卒業生としての自覚、伝統ある母校の歴史の重み、諸先輩方々の期待を感じて戦っている息子を心から誇りに思います。そして努力した者だけが知る事の出来る輝かしい栄光を目指して精進し続けて下さい。母は、そんなあなたを静かに見守り応援していきます。

【弓道部】

ありがとう

A3 佐藤 孝子(未樹)

姉と妹、各3年間、計6年間弓道部にお世話になりました。今年妹がインターハイに出場という大きな目標を達成することができました。総ての始まりは中学3年の時、国体に出場していた姉の雄姿を見て農林の弓道部に入りました。姉の時はドキドキしながら観戦していました。が、妹の大会は安心して観る事ができました。それでも全県総体の時は内心ドキドキでした。



建設中の統合校舎を 覗いてきました

本校敷地に建設中の統合校舎もだいぶ完成に近づいてきました。校舎内は木を多く使用した作りになっています。

本人も相当なプレッシャーだったと思いますが、最後まで集中力を切らさず、みごと優勝し、インターハイへの切符を手中に納めました。思えば今回の大会会場の由利本荘市は、秋田国体の弓道競技が開催された場所。娘が弓道部に入る決心をした所

でもありません。それを考えると「人の思い」というのはそれに向って頑張れば叶うと私は思いました。6年間色々な経験をさせてくれた、娘達やそれを支えてくれた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。
 ありがとう弓道

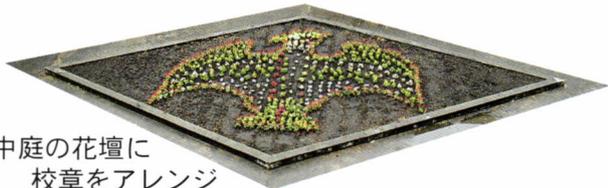
前期をふりかえって



青組、14年ぶりの運動会優勝



今年も大活躍、森林バスターズ



中庭の花壇に校章をアレンジ



田植機による田植え実習、そこ踏まないと……



椎茸の柵木作成実習、美味しい椎茸が採れますように！



重い、手伝ってくれ～？



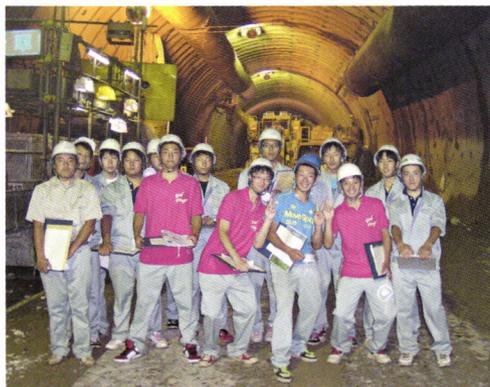
環境土木科、現場委託実習(道路補習)



秋田フキの収穫



そば作り実習、美味しく作るぞ



職場見学、工事中のトンネル内を見学しました



さなぶり、余裕のミス農林



各職場でのインターシップ研修